

平成三十年度入学者選抜学力検査問題

国語

正答・正答例及び評価基準

※ 字数制限のあるものは、句読点、カギ括弧等も一字に数え、字数制限に従って書いているもののみを評価の対象とする。
 ※ 漢字の表記については、手書きの楷書と認められる範囲内における形のくずれは問わない。また、異体字も正答とする。
 ※ 正答または正答例の欄に(例)と示されている小問の誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等については、小問ごとに全体で一点減点とする。それ以外のものについては、誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等それぞれ一か所につき一点の減点とする。

問題番号	問		正答または正答例	小問	配点	評価上の留意事項	
	小問	問題番号					
一	(1)	① こうい	(例) (対話の関係とは) 互いに応答する中で、相手への理解や自分の考えへの自覚を深めるものである。私も一方的に話したり、ただ聞いたりするのではなく、課題や解決策を相手と一緒に考えられるように周囲の人と話し合ってきた。 (九十六字)	各1	33	(2)については、 ・ひらがなで書いているものも正答とする。 ・活用形については、「形」の有無は問わない。	
		② しゅうい		3			
		③ た		4			
		④ ごげん		3			
		⑤ し		4			
		⑥ こうりよ		3			
		(2)		(品詞名) 形容詞 (活用形) 連体形			2
				応答性(と) 身体性			3
		(3)		対話する人の繊細な感情			4
				イ、ウ、オ			3
(4)	対話をする	3					
	語り合っている人たち	4					
(5)	ii	8					
	i	4					
二	(1)	イ	(例) クラスの団結 (例) 練習時間	2	10	(3)は、指定された範囲内の言葉を使って、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。	
		ウ		2			
(2)	B	2					
	C	2					
(3)	ア	2					
	ア	2					
三	(1)	① ア	① たぐいなく ② ゆえ (希望は) (例) かなわなかった (根拠) え吹かざりけり	各2	6	(2)の「希望は」は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。	
		② ウ		3			
(2)	エ	3					
	エ	3					
(3)	③	2					
	④	2					
(4)	イ	3					
	ア	3					
四	(5)	(楽) 落 (塩) 縁	色変じて振恐す 逆心をつつみえざりけるゆゑ	3	24	(6) Aは、「秦舞陽、色変じて振恐す」も正答とする。 (6) Bは、「逆心をつつみえざりける」「逆心をつつみえざりけるゆゑなり」も正答とする。 (7)は、句読点・送り仮名を書いても減点の対象とはしない。	
		B		3			
(6)	A	3					
	B	3					
(7)	取 舞 陽 所 持 地	3					
	取 舞 陽 所 持 地	3					
五	(1)	① 結局	① 結局 ② 勢 自分が工夫し() 見せてくれる	各2	27	(1)①は、二字とも正しく書いているもののみ正答とする。 (5)については、 ・ひらがなで書いているものも正答とする。 ・「季語」と解答しているものも正答とする。 (6)の最後の六字は、「せてくれる。」も正答とする。 (7)は、文章中の言葉を使って、「持て余す」は困っている情景「飼いならす」は楽しんでる情景と同等の内容が書かれているものを正答とする。	
		② 勢		2			
		イ		2			
		イ		2			
		ウ		3			
		ウ		3			
		季語		3			
		自分が工夫し() 見せてくれる		4			
(7)	(例) 「持て余す」では扱いにくいホースに困っている情景が想像できるが、「飼いならす」は余裕があり、水まきを楽しんでる情景が想像できる。	6					
	(例) 「持て余す」では扱いにくいホースに困っている情景が想像できるが、「飼いならす」は余裕があり、水まきを楽しんでる情景が想像できる。	6					
(8)	(ii) i	笑いこらえて 子どもがあじさいのかけで、見つからないように息をひそめてどきどきわくわくしている情景が想像できる。 (四十九字)	6	(8)については、 ・i、iiの両方に適切に解答しているものを正答とする。 ・俳句から想像できる情景を書いているかを評価する。 ・iが適切に書かれていないものは、二点の減点とする。			
	(ii) i				6		